



(2018年度SS参加者)

2018年度ウインタースクール(予告)

開催日：2019年3月16日(土)

9:30~17:15, +17:30~交流会

開催場所：東京大学農学部7号館B棟234・235

企業：(株)明治 菓子営業本部

カゴメ(株) 経営企画本部品質保証部

応募条件：学部3年生から博士後期課程1年生まで

(推薦者も参観+交流会への参加が可能です)



(2018年度SSの様子： キッコーマン(株)、サントリーマーケティング & コマース(株))



(2017年度WSの様子： 日本ハム(株)、日本マクドナルド(株))

- 2016年度から始動した本学会教育支援システム構築プロジェクトは、本年で3年目を迎えました。食品企業における最先端の製品・技術開発や経営戦略について社会科学的な観点から学ぶことを目的に、「サマースクール(SS)」「ウインタースクール(WS)」を開催してきました。
- 講師は、食品産業界の最先端分野で活躍される方々です。「講義+グループワーク」の少人数制アクティブラーニング方式で学びを深める教育機会を提供いたします。

これまで、フードシステム学もしくはそれに関係する講義は、全国の農学系・栄養学系の大学や農業大学校などで行われてきました。しかし、一部の大学を除いては、フードシステム学を専門とする教員が限られているなど、教育体制が整っていないところもあるのが実情です。あわせて、近年のフードシステムを取り巻く環境の変化は年々加速しており、その全貌と詳細を把握することが困難になってきています。

本学会では、SS・WS を開講することにより、最先端の現場からの情報を受けて、教育・研究へ活用できる体制を構築していくことを目指します。

就職を考えている学部生・大学院生には食品企業を学ぶ機会を、また研究に取り組む大学院生には食品企業の最先端知識を得ることにより、研究対象としてのフードシステムをより深く理解する機会を提供したいと考えています。

学会としては、こうした“学びの場”を提供し、**教科書に書いていない食品企業のホットな話題を講師の方から直接お聞きするとともに、直接コミュニケーションする機会**を得ることにより、学生に“気づき・発見・喜び”を体感してほしいと思っています。過去、参加した学生の皆さんからは、「非常に勉強になった」という感想をもらっています。

先生のお近くに学習意欲の高い学生はいませんか。その学生に**生きたフードシステム論を勉強させるチャンス**です。なお、グループワークを行う関係から定員が10名程度となります。参加を希望する学生がいる場合は、お早めにご推薦いただければ幸いです。

○備考

- (1)ワークショップは1つのテーマについて、講義(90分)、グループワーク(30分)、発表およびディスカッション(60分)で構成する予定です。
- (2)募集人数は10名(1グループ5名×2グループで運営予定)程度とします。
- (3)会員1名あたり1名の学生を推薦することができますが、一つの大学で複数の学生を推薦することは可能(複数の会員が推薦可)です。
- (4)学生を推薦した会員は当日に参観可能です。ご希望の場合は事前にお知らせ下さい。
- (5)参加できる学生は、学部3年生から博士後期課程1年生までです。
- (6)WSに関するご質問は、教育支援システム構築検討委員会・佐藤奨平(幹事)
sato.shohei@nihon-u.ac.jpまでお願いします。

(日本フードシステム学会教育支援システム構築委員会・委員長 木島 実)